

志教育の視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる · <input checked="" type="checkbox"/> もとめる · <input checked="" type="checkbox"/> はたす
--------	---

活動名	【社会連携教育】インターンシップ
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	第2学年 就職希望者34名
ねらい	インターンシップの体験から、社会や仕事の意義を学び、職業観を養い進路意識を高める。実践的な学びをとおして、協調性やコミュニケーション能力など、社会で求められる力を養うとともに、将来の進路選択に向けた視野を広げる。

【実践内容】

1. オリエンテーションおよび日程の確認 4月24日

インターンシップに向けた学習の日程を確認することで、これからの学習に見通しをもつことができた。

2. 仕事の意義、目的等を知る 5月13日

人は何故仕事をするのか。仕事することで何を得るのか、について多角的に考えた。職業選択のときに、「お金」だけではないことを学んだ。

3. 自己分析 5月20日

簡易性格検査（企業独自開発）を使い、自分の特性、性格について知る。また、自分の特性にあった職種等を考える機会となった。

4. 体験先の選択 6月17日

前回の学習（自己分析）等から、自分のインターンシップ先を選択する。その際、自分の特性や興味・関心、通いやすさ等、多面的に考える機会となった。

5. 体験先の研究 6月24日

体験場所の企業について、仕事内容だけではなく、業績や社会貢献、またインターンシップ時の交通手段等を調べる。このことを通してインターンシップに向けて意欲が向上した。

6. 事前準備 7月1日

インターンシップに準備すべきもの、交通手段、就業時間等の確認。不測の事態に対しての連絡先や連絡方法等を知る。

7. インターンシップ体験 7月22日～8月14日 うちの3日間

企業で働く体験をとおして、業務内容を体験的に学ぶとともに、仕事の大変さややりがいを知る。積極的に体験した。（欠席者0名であった。）

8. 振り返り・お礼状の作成 8月26日/9月9日

お礼状を書くことを通して、挨拶状等の書き方について知るとともに、インターンシップでの体験や自分が学んだことを振り返る機会となった。

1～6までは、株式会社 Tomoni ソリューション様から講師派遣していただき、連携した学習である。企業の方の授業ということもあり、社会や仕事を身近に考えられた。それが、インターンシップに意欲的に取り組むきっかけにつながった様子であった。



(株) ヨークベニマル様



村田保育所様



宮城三菱自動車販売様